

# 和光市デジタルミュージアム紀要

## 第1号



### 目次

#### <論稿>

和光市指定文化財旧富岡家住宅年代調査報告・・・・・・・・・・中尾七重・坂本稔・伊郷吉信 p1

和光市出土と見られる

「埼玉県立博物館」から返却された遺物について（覚書）・・・・・・・・・・鈴木一郎 p7

「地福寺日並記」に記録された和光市域の気象・災害・・・・・・・・・・中岡貴裕 p17

#### <講演録>

新倉地域の伝統行事 一富岡家を中心として・・・・・・・・・・講演者：富岡 進 p47



2015.3

和光市教育委員会



## 序文

和光市では、郷土ゆかりの貴重な文化財などを、後世に伝え、活用するために、多くの方々から資料の寄託や寄附をいただき、これまで文化財保存庫に収蔵してきました。これらの収蔵物等を広く市民の皆様をはじめ多くの方々にご紹介し、本市の歴史や文化をご理解いただくツールとして、平成24年4月1日に、和光市デジタルミュージアム「れきたま」をWeb上に構築して配信を開始しました。

この度、さらに「れきたま」の充実を図るべく、「和光市デジタルミュージアム紀要」を創刊し、Web上において公開することとしました。この紀要創刊の目的は、当市域の歴史や文化財について、担当者及び関係各位による日頃の研究成果を公表し、それらを蓄積していくことにあります。今回は第1号として、本市にゆかりの深い中尾氏・坂本氏・伊郷氏のお三方が実施されました和光市指定文化財旧富岡家住宅の年代調査に基づく「和光市指定文化財旧富岡家住宅年代調査報告」の玉稿、「旧富岡家住宅」元所有者の富岡進氏による講演記録、さらに、当教育委員会文化財保護担当職員2名の論稿を掲載しました。富岡氏のお話の年間行事は、現在でも市内で行われている民俗記録として、とても貴重なものであると思われます。

結びに、本紀要の刊行にあたり公私ともご多用の中、ご執筆をいただきましたお三方の先生をはじめ、数々のご教示・ご高配を賜りました関係各位に心より厚く御礼を申し上げますとともに、本紀要が、郷土和光の歴史と文化についてより一層の理解を深めていただく一助となりますことを切に願ひまして、あいさつといたします。

平成27年3月  
和光市教育委員会  
教育長 大久保 昭男

